

北九州工業高等専門学校		開講年度	平成29年度 (2017年度)		授業科目	社会特論（一般総合選択）	
科目基礎情報							
科目番号	0160			科目区分	一般 / 選択		
授業形態	授業			単位の種別と単位数	履修単位: 1		
開設学科	総合科学科			対象学年	4		
開設期	前期・後期			週時間数	4		
教科書/教材	使用しない						
担当教員	長谷川 洋史						
到達目標							
1.人間活動と自然環境との関わりや、産業の発展が自然環境に及ぼした影響について、歴史的観点から理解できる。 2.日本の様々な生活文化、民族・宗教などの文化的諸事象について、歴史的観点から理解できる。 3.日本史と世界史の本質と技術・経済的側面を理解できる。							
ルーブリック							
	理想的な到達レベルの目安			標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安	
評価項目1	人間活動と自然環境との関わりや、産業の発展が自然環境に及ぼした影響について、歴史的観観点から十分に理解できる。			人間活動と自然環境との関わりや、産業の発展が自然環境に及ぼした影響について、歴史的観観点からほぼ理解できる。		人間活動と自然環境との関わりや、産業の発展が自然環境に及ぼした影響について、歴史的観観点から理解できない。	
評価項目2	日本史と世界史の本質と技術・経済的側面を十分に理解できる。			日本史と世界史の本質と技術・経済的側面をほぼ理解できる。		日本史と世界史の本質と技術・経済的側面を理解できない。	
評価項目3	近代社会の成立過程とその歴史的 位置付け、産業革命の歴史的意義 を十分に理解できる。			近代社会の成立過程とその歴史的 位置付け、産業革命の歴史的意義 をほぼ理解できる。		近代社会の成立過程とその歴史的 位置付け、産業革命の歴史的意義 を理解できない。	
学科の到達目標項目との関係							
準学士課程の教育目標 F① 歴史・文化・社会に関する基礎的な知識を身に付ける。 準学士課程の教育目標 F② 工業技術と社会・環境との関わりを考えることができる。 準学士課程の教育目標 G② 社会人として、技術者として必要な素養、一般常識や礼儀、マナーについて考えることができる。							
教育方法等							
概要	「私たちの生きる現代社会の原点となる近代社会（工業社会・市場経済社会・資本制社会）とは、いかなる過程で生まれ、それは人類史上いかなる位置付けにあるのか?」ということの基本的理解を深めたい。 また、北九州は、弥生期では水稲耕作発祥となった遠賀川沿岸の立屋敷遺跡、近現代期では「日本の鉄の世界」を象徴する、戦前アジアで初めての銑鋼一貫工場となった八幡製鉄所など、大きな歴史的意義を持つ事跡が多数存在する。そうした北九州の産業的特質の理解も深めたい。特に、「鉄の技術史」に関しては毎回少しずつ連続して紹介していきたい。						
授業の進め方・方法	写真・パネルを多用してビジュアルで理解しやすい授業にしてゆく。						
注意点							
授業計画							
		週	授業内容			週ごとの到達目標	
モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標							
分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標			到達レベル	授業週
評価割合							
			試験			合計	
総合評価割合			100			100	
基礎的能力			100			100	